

伴野豊の絆レポート



伴野豊の活動報告

皆さん！こんにちは、伴野豊です。朝夕は少し過ごしやすくなったようですが、いかがお過ごしでしょうか。東京オリンピック決まりましたね！2020年、今から七年後、夏季五輪が東京にやって来ます。安全輸送の国、日本。外国のお客様に見せつけてやりましょう！また、思いやり、おもてなしの国、日本。日本を大好きになってもらいましょう！

ところで、先日の台風はとんでもなく雨が降りました。さらに竜巻、雷と、まさに異常気象です。秋は、観光シーズンであります。同時に台風シーズンでもあります。防災の日とされている9月1日は、90年前に関東大震災があった日です。秋はとりわけ、防災、減災について考える季節でもあります。

2020年まで、あと七年しか、ありません。もっともっと、安全安心、思いやり、おもてなしの国、日本。気づいた事から実践して行きましょう！皆さんお一人お一人が、日本PR大使です！

伴野豊の気になる国土交通政策

防災、減災に関する最近のトピックスをご紹介します。

1. 特別警報の運用開始

気象庁では、8月30日から特別警報の運用を開始。特別警報とは、尋常でない大雨や津波など、命に関わる非常事態が迫っていることをお知らせする情報です。平成23年の台風12号による大雨などにおいて、気象庁では重大な災害への警戒を呼び掛けたものの、災害発生の危険性が住民や地方自治体に十分に伝わらず、迅速な避難行動に結び付かなかった例があることを踏まえ、創設するものです。

今後は、「注意報」、「警報」、「特別警報」の三段階となります。特別警報が出た場合は、住民は直ちに命を守る行動をとることが重要です。（「特別警戒」でネット検索すると気象庁HPや政府広報オンラインの解説がヒットします）

2. 南海トラフ巨大地震対策計画の策定及び対策の推進

国土交通省は、「国土交通省南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策本部」を設置し、8月22日に「国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画中間とりまとめ」を公表しました。

今後、対策計画の策定や地方ブロック毎の地域対策計画の策定を進めるとともに、南海トラフ巨大地震に対する「応急活動計画」及び「戦略的に推進する対策」の推進に取り組みます。

3. 26年度予算要求内容から

南海トラフ巨大地震、首都直下地震等の大規模災害を想定し、災害発生後から変化するリアルタイム情報を電子地図上に重ね合わせる電子防災情報システムの構築や、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の災害対策用機材など装備品の充実、地下街の防災対策を新規で要求しています。

伴野豊の気になる本

今回の本は、半藤一利著「あの戦争と日本人」です。この夏、自分なりに「あの戦争」を学んでおります。全くのゼロから、固定観念や偏見をを持たず、出来るだけ客観的に、科学的に。私自身、「あの戦争」を経験した訳でも、ましてや何らかの当事者であった訳でもありませんので、どうしても最後は健全な想像力が必要になって来ます。しかし、どんな形にしろ、一度自分の中で「あの戦争」を総括しなければ前に進めない、進んではいけない。そんな思いで、今もまだまだ学び続けています。「昭和史をかき回した『統帥権』の芽は、幕末に生まれていた」

「日露戦争の教訓」「八紘一宇」「戦艦大和」「特攻隊」「原子爆弾」「八月十五日」「昭和天皇」「日本よ、平和の先進国たれ」「新聞は戦争によってもうかる」など。なかなか読み応えあります。秋の夜長にお勧めします。

文春文庫（定価：本体670円＋税別）



ば

「ばんの豊」で facebook 始めました。

伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

E-mail: office@bannoyutaka.jp

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

